主催：京都大学大学院人間・環境学研究科附属学術越境センター

2025年度第7回学術越境フォーラム

持続可能な地域をつくる

2025年12月26日（金）
16:45～18:15（終了後に情報交換会）
人間・環境学研究科棟　433演習室

講師：太齋彰浩

（一社）サスティナビリティセンター代表理事

民間機関の研究者を経て、フィールド密着型の人材育成を志し、2000年に南三陸へ移住。箱もの施設再生で年間数千人の交流人口創出。東日本大震災後は、水産業の復興に奔走するとともにバイオマス産業都市構想の実現に貢献。2018年サスティナビリティセンター設立。東北大学生命科学研究科客員教授。

研究職が向いていないと感じ、縁あって移り住むことになった宮城県南三陸町で、町職員として世にも珍しい研究・教育施設の企画運営に携わることとなった演者。東日本大震災により壊滅した町を前にして何を思ったか、その後の復興にどのように取り組んできたのか。それらの過程で突きつけられた「持続可能性」という課題。現場での出来事をみなさんと共有し、地域の現実について対話しながら深める機会としたいと思います。